

# 議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>



スキこそムテキ!  
川俣リヤンズ  
バスケットボール部  
※25ページ「まちれぽ」を  
ご覧ください。

|           |       |
|-----------|-------|
| 9月議会報告    | 2～7   |
| 決算意見      | 8～11  |
| 請願結果・意見書  | 12～13 |
| 一般質問      | 14～22 |
| 全員協議会レポート | 23    |
| 委員会報告     | 24    |
| まちれぽ      | 25    |
| 町民の声      | 26    |

令和4年 **11** 月1日 発行

# 拡張ほか 補正予算

一般会計予算は128億3271万5千円に

令和4年第6回議会定例会は、9月1日から15日までの15日間の会期で開催されました。  
9月は決算議会であり、令和3年度の各会計決算について、予算決算常任委員会に付託をして集中的に審議しました。中山工業団地の拡張費用18億円を含めた補正予算約38億円が提出され一般会計の総額は128億円台となりました。提出された議案は全て可決成立しました。

※決算の概要は4～9ページをご覧ください。

工業団地の造成費用  
18億円を含め  
**37億9186万3千円を  
増額**

## 9月議会で決まった主な事業

### 新型コロナワクチン追加接種費用

高齢者、基礎疾患がある方等、5回目のワクチン接種を実施するための費用。



オミクロン株対応のワクチン接種が開始

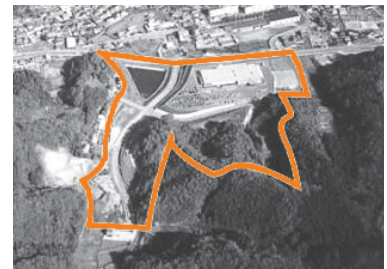
**8673万円**

### 中山工業団地の拡張

アサヒ通信㈱との連携協定に基づき、研修センター・新工場立地（R8年4月）予定のため用地を拡張する費用。

※事業期間

令和4～5年度のため一旦基金（町の貯金）に積立て



中山工業団地の拡張イメージ

**18億7916万円**



## 農業者への物価高騰に対する緊急支援

物価高騰により打撃を受けている農業者に対する緊急支援。  
(生育・成育に影響が直結するもの)

### 施設園芸用燃油費の助成

**779万円**

令和3年10月～令和4年6月までに、作物の加温のために使用した燃油代を補助。

### 肥料高騰に対する緊急支援

**1315万円**

令和4年1月～12月31日までに購入した肥料代を補助。

### 畜産農業者の飼料高騰に対する緊急支援

**1391万円**

令和4年7月1日時点の飼育頭（羽）数に応じて補助。



## 火葬場建設の実施設計

火葬場の建替えを現地で、現施設を稼働しながら、新火葬場を敷地内に建設するための設計費用。  
※24頁をご覧ください。



**1759万円**



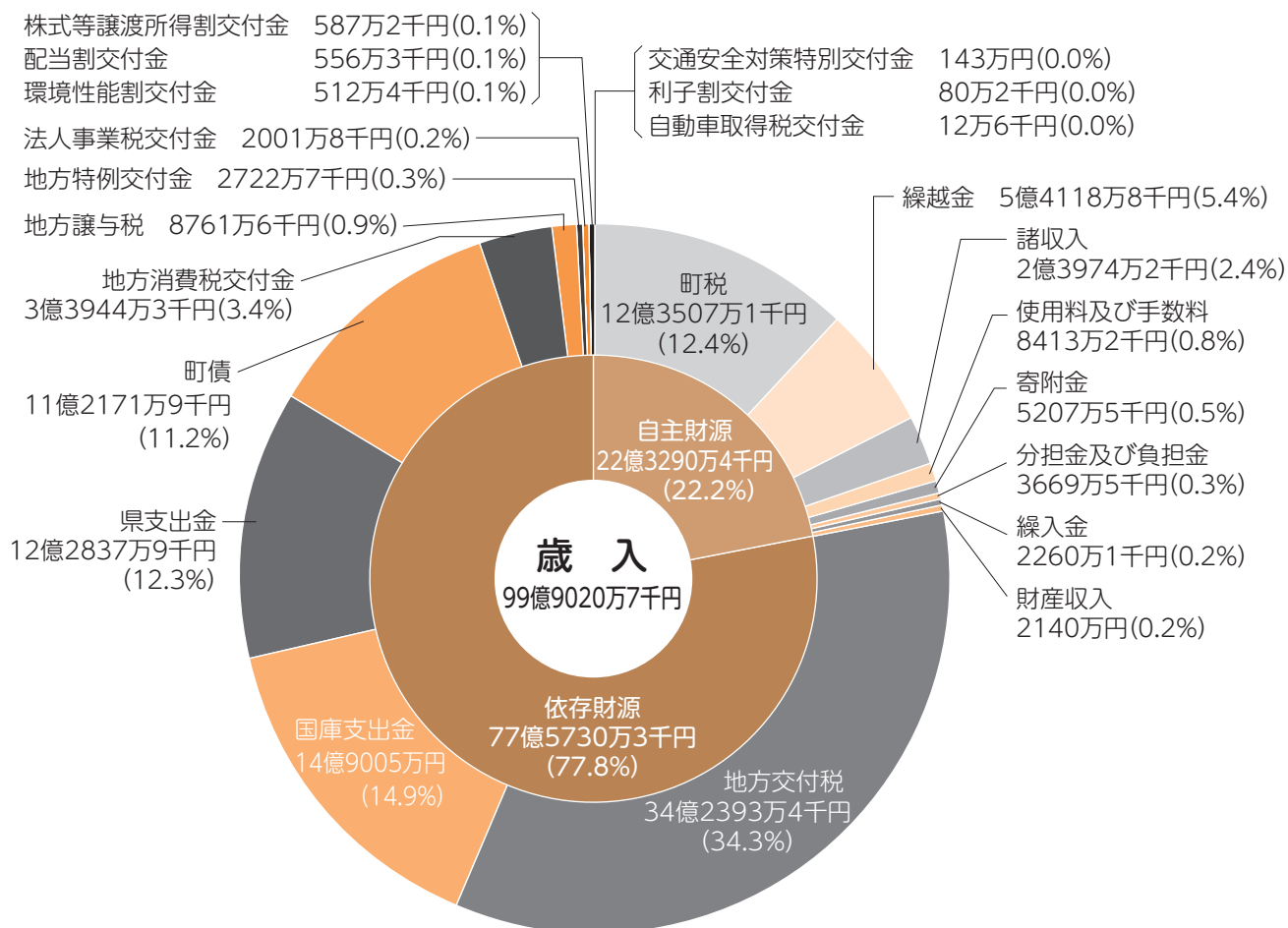
# 決算を認定

歳入

99億9020万7千円

歳出

91億3832万円



設される、民間が運営す

【概要】令和5年から開

の派遣等に関する条例

の派遣等に関する条例

議案第58号

## 条例の一部改正

となりました。

委員会、本会議とも採決となり、その結

果、決算議案13件とも、全会一致で「認定」

となります。

います。

報告をもとに改めて議会で審議、採決を行

います。

決算審査は、集中的に審議する目的で、

予算決算常任委員会に付託して行い、その

報告をもとに改めて議会で審議、採決を行

います。

委員会、本会議とも採決となり、その結

果、決算議案13件とも、全会一致で「認定」

となります。

います。

報告をもとに改めて議会で審議、採決を行

います。

決算審査は、集中的に審議する目的で、

予算決算常任委員会に付託して行い、その

報告をもとに改めて議会で審議、採決を行

います。

委員会、本会議とも採決となり、その結

果、決算議案13件とも、全会一致で「認定」

となります。

います。

報告をもとに改めて議会で審議、採決を行

います。

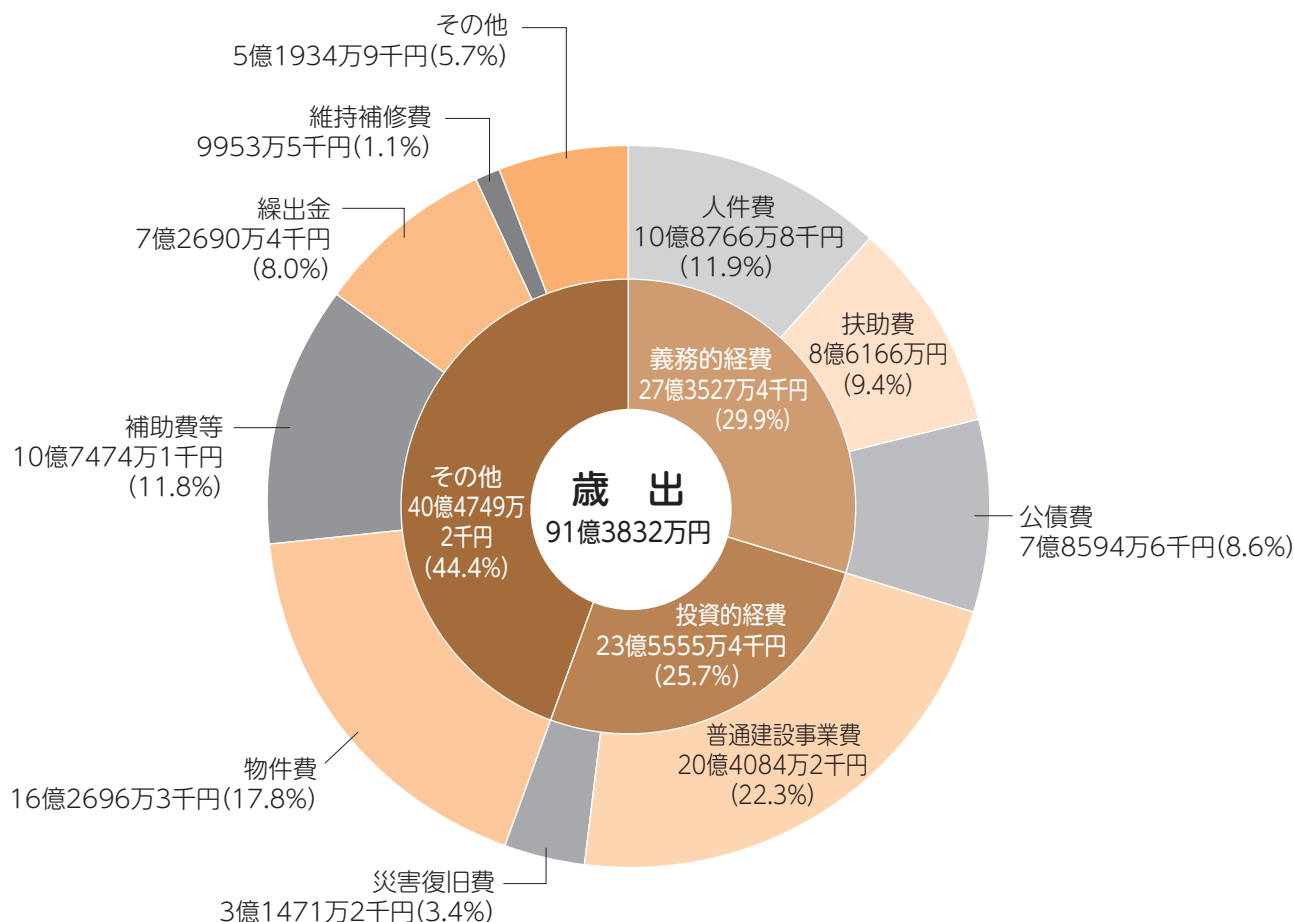
決算審査は、集中的に審議する目的で、

予算決算常任委員会に付託して行い、その



決算審査報告をする佐藤予算決算常任委員長

# 令和3年度各会計



②第8条で、規則への委任が定められているが、決まっているのか。

（高橋清美議員）

答

①幼稚園教諭5人です。

②施行日に合わせて、規則を制定します。

（総務課長）

質問

①該当の職員の派遣終了後に、経験や資格を生かせるのか。

②派遣ではなく、出向という形にはできないのか。

（石河ルイ議員）

答

①派遣終了後は、幼児教育等に携わる職場を検討します。

②民間企業では同一グループ企業等へ出向という形になりますが、町と社会福祉協議会においては、そのような関係にないため、出向ではなく、派遣のみ、対応できるところです。

（総務課長）

## 補正予算審議

●議案第73号

一般会計補正予算

【概要】※2-3ページをご覧ください。

質問

①財政調整基金（町の貯金）に、2億5800万円繰り戻し、残高が18億5000万円になるということだが、多すぎるのではないか。

②新型コロナウイルスの5回目接種の対象者は、予定どおり10月に開始できるのか。

③農業者への緊急支援の対象件数は。

（高橋清美議員）

答

①近年、予算規模が100億円を超えており、工事費等が高額になっているほか、台風などの非常時の変動にも対応できるよう積み立てています。

（財政課長）

②1回目、2回目を完了し5カ月を経過した12歳以上の全ての住民のほか、1回目、2回目未接種者も対象になります。

③施設園芸用燃油価格高騰対策は30件、肥料価格高騰対策緊急支援については1000件、畜産飼料価格高騰対策支援は26件を見込んでいます。

(農林振興課長)

#### 質問

①財政調整基金を18億円も積み立てるならいくらか火葬場整備基金に積み増しすればよかったのではないのか。

②火葬場整備は町民の関心が高い。計画の変更をきちんと知らせるべきと思う。また進入口の拡幅は考えていないのか。

(佐藤喜三郎議員)

#### 答

①火葬場の整備には、過疎債(※過疎地域だけが使える財政措置のある借金)の充当を検討しており、基金への積立は考えていません。

(財政課長)

②既存の火葬棟と待合棟を使用しながら、新たな火葬場の建築をする計画(※23ページ)です。進入路の拡幅は検討中です。

(町民税務課長)

#### 質問

桜ヶ作・七曲線が減額補正になっているが、進捗は。(石河ルイ議員)

#### 答

県の砂防事業が令和5年度施行になり、令和6年度に施行する予定です。

(建設水道課長)

#### 質問

①火葬場の総事業費は。

②花塚の里の整備工事の内容は。

③空き家の業務委託の内容は。(作田善輝議員)

#### 答

①総額4億3860万円程度になります。

(町民税務課長)

②6月補正の東屋建替えに併せ、周辺整備として植え込みの剪定等を実施します。(農林振興課長)

③前期計画期間が最終年度となり、後期計画を策定するための委託事業です。

(建設水道課長)

#### ●議案第78号

工業団地造成事業特別会計補正予算

#### 質問

中山工業団地の工

事請負等のスケジュールは。(高橋清美議員)

#### 答

本年12月までに県の開発行為許可を受け、拡張造成工事を実施し令和7年度中に完成予定です。

(政策推進課長)

### 人事案件

#### ●議案80号

教育委員会委員の任命

次の方の任命について同意しました。なお任期は令和4年11月1日から4年間です。

●高橋 友憲氏

(鶴沢字笛田)

#### ●諮問第2号

人権擁護委員候補者の推薦

次の方を推薦することとを同意しました。なお任期は法務大臣が委嘱した日から3年間です。

●遠藤貴美子氏

(山木屋字竈戸山)

●佐藤 常幸氏

(鶴沢字鶴東)

## 特別会計等の決算額

| 名 称                | 歳 入         | 歳 出         | 収 支      |
|--------------------|-------------|-------------|----------|
| 国民健康保険特別会計(事業勘定)   | 15億7902万2千円 | 15億2255万円   | 5647万2千円 |
| 国民健康保険特別会計(診療施設勘定) | 1423万2千円    | 1423万2千円    | 0円       |
| 介護保険特別会計           | 20億5151万4千円 | 19億6339万6千円 | 8811万8千円 |
| 後期高齢者医療特別会計        | 1億8522万9千円  | 1億8210万5千円  | 312万4千円  |
| 簡易水道事業特別会計         | 1226万円      | 1141万6千円    | 84万4千円   |
| 川俣町奨学資金特別会計        | 1747万4千円    | 1747万4千円    | 0円       |
| 工業団地造成事業特別会計       | 3466万8千円    | 3466万8千円    | 0円       |
| 小島財産区特別会計          | 1242万8千円    | 13万円        | 1229万8千円 |
| 飯坂財産区特別会計          | 2083万9千円    | 67万5千円      | 2016万4千円 |
| 大綱木財産区特別会計         | 91万円        | 8万4千円       | 82万6千円   |
| 小綱木財産区特別会計         | 416万2千円     | 9万6千円       | 406万6千円  |
| 山木屋財産区特別会計         | 33万6千円      | 9万3千円       | 24万3千円   |
|                    | 事業収益        | 事業費用        | 収 支      |
| 水道事業会計             | 2億6301万8千円  | 2億4197万5千円  | 2104万3千円 |

# 9月議会定例会審議結果 (令和4年9月1日～15日)

| 議 案   | 件 名                               | 審 議 結 果    |
|-------|-----------------------------------|------------|
| 第58号  | 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例              | 採決表をご覧ください |
| 第59号  | 川俣町帰還・移住等環境整備交付金基金条例              | 可決 (全会一致)  |
| 第60号  | 令和3年度川俣町一般会計歳入歳出決算の認定について         | 認定 (全会一致)  |
| 第61号  | 令和3年度川俣町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認定 (全会一致)  |
| 第62号  | 令和3年度川俣町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について     | 認定 (全会一致)  |
| 第63号  | 令和3年度川俣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について  | 認定 (全会一致)  |
| 第64号  | 令和3年度川俣町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認定 (全会一致)  |
| 第65号  | 令和3年度川俣町奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について     | 認定 (全会一致)  |
| 第66号  | 令和3年度川俣町工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 (全会一致)  |
| 第67号  | 令和3年度川俣町小島財産区特別会計歳入歳出決算の認定について    | 認定 (全会一致)  |
| 第68号  | 令和3年度川俣町飯坂財産区特別会計歳入歳出決算の認定について    | 認定 (全会一致)  |
| 第69号  | 令和3年度川俣町大綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認定 (全会一致)  |
| 第70号  | 令和3年度川俣町小綱木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認定 (全会一致)  |
| 第71号  | 令和3年度川俣町山木屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について   | 認定 (全会一致)  |
| 第72号  | 令和3年度川俣町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について   | 認定 (全会一致)  |
| 第73号  | 令和4年度川俣町一般会計補正予算 (第3号)            | 可決 (全会一致)  |
| 第74号  | 令和4年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)      | 可決 (全会一致)  |
| 第75号  | 令和4年度川俣町介護保険特別会計補正予算 (第1号)        | 可決 (全会一致)  |
| 第76号  | 令和4年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)     | 可決 (全会一致)  |
| 第77号  | 令和4年度川俣町簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号)      | 可決 (全会一致)  |
| 第78号  | 令和4年度川俣町工業団地造成事業特別会計補正予算 (第2号)    | 可決 (全会一致)  |
| 第79号  | 令和4年度川俣町水道事業会計補正予算 (第2号)          | 可決 (全会一致)  |
| 第80号  | 教育委員会委員の任命について                    | 同意 (全会一致)  |
| 諮問第2号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について                 | 同意 (全会一致)  |

## 議 案 採 決 表

| 議 案                 | 山<br>家<br>恵<br>子 | 石<br>河<br>ル<br>イ | 菅<br>野<br>信<br>一 | 作<br>田<br>善<br>輝 | 蓮<br>沼<br>洋<br>志 | 高<br>橋<br>清<br>美 | 高<br>橋<br>真<br>一<br>郎 | 菅<br>野<br>清<br>一 | 新<br>関<br>善<br>三 | 佐<br>藤<br>喜<br>三<br>郎 | 村<br>上<br>源<br>吉 |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|------------------|-----------------------|------------------|
| 第58号 公益的法人等への職員派遣条例 | ○                | ×                | ○                | ○                | ○                | ○                | ○                     | ○                | ○                | ○                     | ○                |

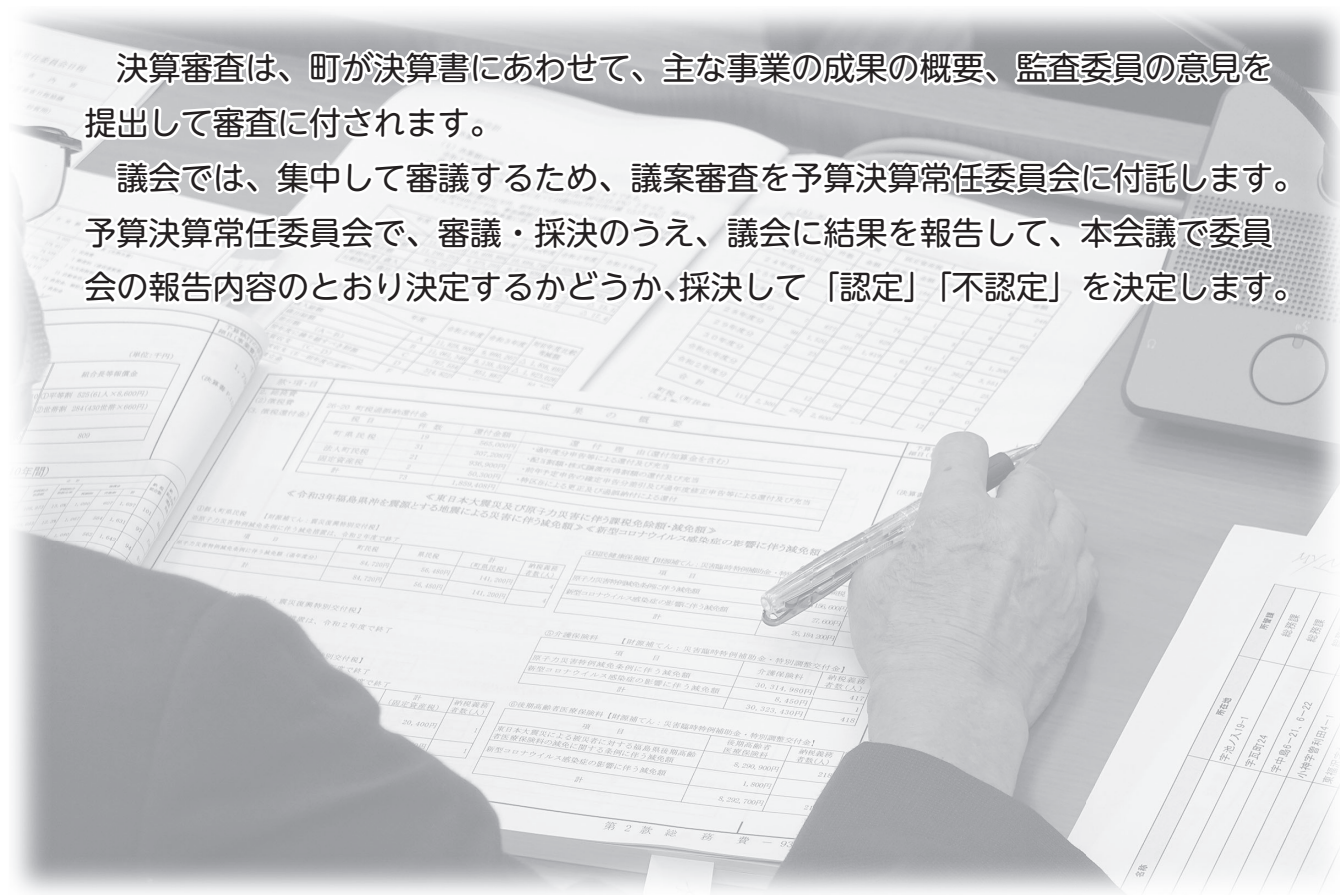
○は賛成、×は反対

# 予算決算常任委員会報告

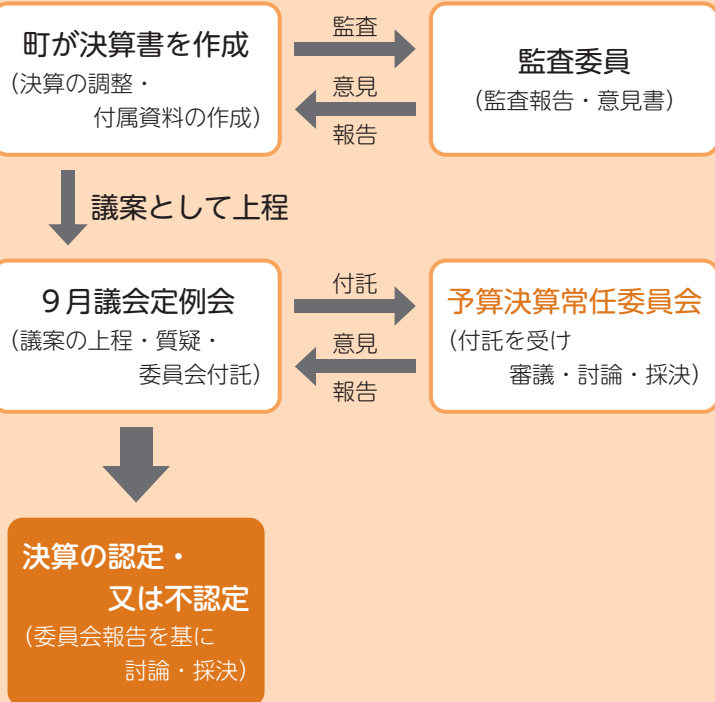
※この報告書をもとに、本会議で「認定」と議決されました。

決算審査は、町が決算書にあわせて、主な事業の成果の概要、監査委員の意見を提出して審査に付されます。

議会では、集中して審議するため、議案審査を予算決算常任委員会に付託します。予算決算常任委員会で、審議・採決のうえ、議会に結果を報告して、本会議で委員会の報告内容のとおり決定するかどうか、採決して「認定」「不認定」を決定します。



## 決算議決までの流れ



▲ 決算審査のようす 集中審議しました



# 令和3年度 各会計・行政運営の課題を点検

## CHECK

### 総務課

- ① 消防施設整備、維持は、消防防災力の要である。非常時において、確実に運用できるよう、各分団と協力、連携して維持管理に当てること。
- ② 現在の消防団員定数は昭和62年に定められたもので、実態にそぐわなくなっている。適正な規模について検討のうえ見直すこと。また、団の運営に必要な処遇や環境整備に努めること。
- ③ 町防災行政無線が本格運用され2年が経過した。
- ④ 議場の傍聴席の増設と、事務局執務室の拡張について、早急に実現を図ること。

### 財政課

- ① 財政調整基金の令和3年度末残高は16億8300万円となり、過去にない大規模な額となった。災害等突発的な支出に備えることも重要だが、「予算がないので対応できない」と断られた町民もいるので、住民生活の小さな要望にも予算措置を怠ることのないよう、各課とよく連携すること。
- ② 各集会所利用が、前年に比べて40%増となり、地域のコミュニティ維持・発展に明るい兆しがみられた。一方で、老朽化が進んでいるほか、災害も頻発しているので、計画的に修繕、更新を行うよう、各課とよく連携すること。

### 町民税務課

- ① 火葬場の整備のため、新たに2億円が基金に積み立てられ、現在の基金残高は4億円である。後年度負担に備えた着実な財政運用には一定の評価ができるが、現在の火葬場の利便性を損ねることなく、円滑な新火葬場整備に努めること。
- ② 浄化槽設置整備事業の実績は総件数で31基が整備され、合併浄化槽の普及率は28・5%となった。住民ニーズに的確に対応するとともに、環境保護を促進していけるよう、制度の普及と、予算の確保に努めること。
- ③ 産業廃棄物、一般廃棄物の不法投棄については、監視を強めること。
- ④ 悪臭で悩む住民のため、実態を調査のうえ不安解消に取り組むこと。

### 政策推進課

- ① 公式LINEサービス「Ka・LINE（かりん）」が令和3年5月から運用されたほか、町ホームページの閲覧数が前年度比で月当たり10%増加している。自治体DXが加速している中で、高齢者のデジタル利用促進、公共施設等へのWi-Fi環境等の整備、SNSコンテンツ等の充実など、官民連携して取り組むこと。
- ② 令和3年度から第6次振興計画の策定が進められたが、町民意見の聴取は、計画策定及び進行管理に重要であるので、コロナ禍であっても、多様な手法を用いて、丁寧な聞き取りに努めること。
- ③ 復興会議については、専門部会が設置され、会議が1回、開催されたが、山木屋地区住民の実態をよく調査し、意見を反映できるような会議運営に努めること。

# 予算決算常任委員会報告

## 農林振興課

- ① 有害鳥獣対策事業により捕獲されたイノシシの総数は418頭、サルは10匹であり、昨年度から半減した。豚熱の発生、野生のえさの不足に加え、防止柵の設置等、これまでの対策が効果を表したものと考えられる。引き続き生産者の意欲が減退することのないよう、情報収集して対策に当たること。
- ② 原発事故で中断されていた宮農のうち、令和3年度までに再開された面積はわずか212・8ヘクタールである。暗渠排水整備や、仮置き場の撤去、農地返還の問題を解決しなければ復興は果たせない。早急に国に要望すること。

## 学校教育課

- ① 小学校の学校再編事業により、新たな川俣小学校として整備されたことは、大きな成果と言える。引き続き、保護者、児童の声をよく聴き取り、教育力の向上に努めること。
- ② 中学校校舎の修繕は、女子トイレの改修等、年次的に進められているが、思春期3年間の貴重な時間を過ごす場として、生徒の学びと成長に支障が生じないよう、適切な維持管理と対応に努めること。
- ③ 奨学資金については、一部給付型とすることができないか、引き続き検討すること。

## 保健福祉課

- ① 緊急通報体制整備事業については、ひとり暮らし高齢者の見守りの手段として有効活用されたい。その他、各種支援の検討、連携により、見守り支援に努めること。
- ② コロナ禍により、従来のような敬老事業が実施しにくくなっており、各地区で工夫しながら実施されているが、高齢者の生きがいづくり、見守り、地域コミュニティの活性化のため、地域と連携して事業の継続、発展に当たること。

## 建設水道課

老朽化している町営住宅が多く、また、災害復興公営住宅も含めて、空き部屋が多くなっている。用途変更等や入居対象の拡大など、柔軟な運用により、人口増、定住化につながる住宅施策について検討すること。

## 原子力災害対策課

- ① 原子力災害の発生から11年が経過したが、いまだ線量の高いホットスポットや、山菜、きのこなどの線量が高く山の恵みが戻っていない現実がある。現況を把握し、国に対応するよう要望すること。
- ② 住民支援については、「とんやの郷」を拠点に実施されているが、高齢化やコミュニティの維持など、課題も多い。各種施策や支援と連携させるなど、対策を進めること。

# 令和3年度 各会計・行政運営の課題を点検

## CHECK

### 生涯学習課

- ① 前田遺跡から発掘された文化財について、国、県等の関係機関と連携して活用を検討を進めること。
- ② 農村広場や地区公民館等、各生涯学習施設については、備品等をよく点検し、用途に耐えうるよう、修繕、維持管理、利便性向上に努めること。
- ③ 町の文化財、歴史、伝統技法等も含め、継承と人材育成に努めること。
- ④ 代官所跡の石碑は、適切な場所に設置すること。

### 子育て支援課

- ① 認定こども園の開設準備が進められ、「民設民営（公私連携）」方式として整備されることが決定した。今後は、子育て支援に十分に効果、成果が発揮され、保護者の満足度が高まることにより、人口問題、定住化に資するよう、町が主体性を発揮して、関わっていくこと。また、預けやすい体制整備に努めること。
- ② 放課後子ども教室推進事業の開催実績に、各実施場所で大きな開きがある。業務委託により実施されているが、協力スタッフとよく連携し、格差が生じないよう、よく配慮して実施すること。
- ③ 出産祝金については、増額できないか検討すること。

特になし

### 議会事務局 会 計 室

## まとめ

令和3年度の各会計の決算においては、東日本大震災から11年が経過し、粗飼料生産流通拠点施設整備が完了し、川俣小学校及び中央公民館の大規模改修が行われ、第6次振興計画の策定に着手するなど、新たな時代に移行しつつあることをうかがわせる内容となった。

決算規模は、依然として標準財政規模の2倍近い90億円規模となったが、財政の弾力性を示す経常収支比率、公債費比率などの財政の健全性を示す指標が改善された。一方で、自主財源比率は減少し、財政力指数が低下する中、大規模事業の財源として新たに11億円の起債を発行したほか、火葬場整備のため2億円を整備基金に積み立てた。財政調整基金の年度末残高は16億8300万円となり、大規模災害への備えと財政調整のため、という当局の説明であるが、必要な町民サービスに、抑制的になっていないか、各課とよく点検されたい。

また、住民から「予算がないのでできない」と言われたという話を、複数の議員が聴いているので、原点に立ち返って、住民福祉の向上に努めるよう、職員一同肝に命じられたい。

委員会審査において、毎年資料の要求がある事項は、あらかじめ成果の概要に記載するよう、改善を求める。

以上の点について意見し、令和3年度各会計の決算は認定するべきであると決定した。

令和4年9月15日

予算決算常任委員会

委員長 佐藤 喜二郎



## ● 9月議会定例会請願審査結果 ●

| 受理番号 | 付託委員会     | 件名                            | 請願者住所及び氏名                            | 紹介議員           | 審査結果          |
|------|-----------|-------------------------------|--------------------------------------|----------------|---------------|
| 3    | 総務産業常任委員会 | 引地・深田山線（道路・側溝整備等）に関する請願書      | 川俣町大字秋山字蟹沢15<br>長澤 善志 外14名           | 蓮沼 洋志<br>山家 恵子 | 採択            |
| 4    | 総務産業常任委員会 | 「町道壁屋線」道路改良工事（未整備区間）着工に係る請願書  | 川俣町大字小島字杉田1<br>小島自治会長<br>鈴木 栄一 外4名   | 石河 ルイ<br>新関 善三 | 採択            |
| 5    | 厚生文教常任委員会 | 旧産廃処分場の管理強化とゴミ撤去に関する請願書       | 川俣町山木屋字小塚5-8<br>山木屋地区自治会<br>会長 菅野 良弘 | 菅野 信一<br>佐藤喜三郎 | 採択<br>〔意見書提出〕 |
| 6    | 総務産業常任委員会 | 桜久保池組合（通称堺田池水利組合）の管理運営に関する請願書 | 川俣町大字鶴沢字堂ノ窪10番地<br>高野 誠市 外2名         | 高橋 清美          | 趣旨採択          |

## ● 9月議会定例会陳情審査結果 ●

| 受理番号 | 付託委員会     | 件名                                           | 陳情者住所及び氏名                             | 審査結果          |
|------|-----------|----------------------------------------------|---------------------------------------|---------------|
| 7    | 厚生文教常任委員会 | 中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情 | 兵庫県伊丹市北伊丹1-75<br>井田 敏美                | 不採択           |
| 8    | 厚生文教常任委員会 | 子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書     | 福島県福島市渡利字大豆塚7<br>福島県保育連絡会<br>代表 大宮 勇雄 | 採択<br>〔意見書提出〕 |

# 議員提案

9月定例会における議員提案は3件で、意見書は関係機関に送付しました。

## 旧産業廃棄物最終処分場に関する意見書

本町山木屋地区においては、いまだ東日本大震災からの復興の途上にあり、住民の帰還と生活支援が大きな課題となっている。

さて、当該山木屋地区に富岡興業株式会社が設置した旧産業廃棄物最終処分場（以下「旧処分場」という。）については、周辺は未だに異臭を発生しているなど住民の不安は尽きない状況である。

さらに、近年は異常気象により過去に例のない大雨により日本各地で甚大な被害が生じていることから、いつ甚大な被害が生じ旧処分場の有害物質が流出するのではないかと不安が募っている。

特に、旧処分場で万が一、地震や台風などの災害で土堰堤の崩落や汚水の大量流出などの被害があった場合、当地区のみならず口太川の流域の二本松市の住民にも多大なる影響が出るなど大きな被害が予想される。

また、平成29年3月末に東京電力福島第一原子力発電所事故による避難指示の解除がされたものの、住民の帰還が進まない大きな要因の一つでもある。

よって、山木屋地区住民の安心安全の担保と生活再建のより一層の進展を図るため、本議会は以下の3点を強く要望する。

- 1 旧処分場の指導強化を図り、定期的に住民に旧処分場全体の管理状況を知らせること。
- 2 当該地区住民の井戸水の水質検査を継続すること。
- 3 旧処分場に埋設された廃棄物の全量撤去についての指導を検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月15日

福島県知事 内堀 雅雄 様

福島県東北地方振興局長 石本 仁 様

福島県伊達郡川俣町議会

## 子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書

国は2023年度に、こども政策の司令塔となる「こども家庭庁」を設置し、これまで以上にこども関連施策の充実・推進をめざすとしている。

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されてきたが、コロナ禍への対応が加わり、いま保育現場の多忙化、人員不足は深刻なレベルに達している。しかし、求人をかけても応募がない、就職しても早期に退職してしまうなど保育士確保がままならない事態が進行しており、もはや現場の努力も限界を超えている。子どもの命と安全を守るために保育士増員が急務である。

小学校では、40年ぶりに基準が改善されて35人学級が実現し、実質的には平均20人台の学級が増えることが想定されているが、保育所の保育士配置基準は久しく改善がなく、小学生よりも幼い4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）に至っては基準制定後70年以上、一度の改善もないまま放置され、国際的にも恥ずべき基準となっている。どのような状況にあっても、子どもたちには安心・安全で質の高い保育が格差なく平等に保障されなければならない。子どもの権利保障のために予算を確保し、配置基準を引き上げるなどして一刻も早く

保育士の増員を実現しなければならない。こども家庭庁を設置し、こども関連施策を充実・推進するというのであれば、この間の施策の問題点をふまえ、最も改善が必要とされることから着手すべきである。

よって国におかれては必要な財源を確保し、次の事項について実現されるよう、強く要望する。

- 1 子どものために配置基準引き上げによる保育士増員をすすめること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月15日

内閣総理大臣 岸田 文雄 様

衆議院議長 細田 博之 様

参議院議長 尾辻 秀久 様

財務大臣 鈴木 俊一 様

厚生労働大臣 加藤 勝信 様

文部科学大臣 永岡 桂子 様

内閣府特命担当大臣 小倉 将信 様

（少子化対策）

福島県伊達郡川俣町議会

## 地方公共団体への損害賠償制度の改善を求める意見書

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う損害賠償については、原子力損害賠償紛争審査会が、平成25年12月26日に定めた中間指針第4次追補、更には平成29年1月31日に当該追補の一部改定が行われたが、その追補に記載されているにも関わらず、未だに地方公共団体への損害賠償が進展しない状況にある。

とりわけ、地方公共団体が原発事故からの復旧・復興のためにを行っている事業に従事している職員等の人件費や物件費については、ごく一部が支払われたのみで、依然として原発事故による業務とは認めず支払いは進んでいない。

原発事故からの復旧・復興に今後どれだけの年月を費やさねばならないかは、被災後11年が過ぎた現在においても全く予測できる状況になく、復旧・復興に係る職員の費用等の捻出が

この後も続けば、財政基盤の脆弱な被災自治体にとって財政崩壊の危機を招く危険性となることは全くもって否定できない。

よって、早急に中間指針を見直し、地方公共団体への損害賠償の実情に見合った制度とすべく特段の措置を取られるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月15日

内閣総理大臣 岸田 文雄 様

財務大臣 鈴木 俊一 様

文部科学大臣 永岡 桂子 様

経済産業大臣 西村 康稔 様

復興大臣 秋葉 賢也 様

福島県伊達郡川俣町議会

# まちの課題を問う！

9月議会定例会の一般質問には8人の議員が登壇しました。

※質問順は抽選により決定されます。



新関善三議員

15

- 新型コロナウイルスについて
- 被災12市町村対象ポイント還元事業について



菅野信一議員

16

- 本町に計画される風力発電事業について
- 羽山の森美術館の運営について
- 第6次川俣町振興計画について



山家恵子議員

17

- マイナンバーカードの普及促進と町民サービス向上の取組について
- 障がい者の社会参加について



作田善輝議員

18

- 第6次川俣町振興計画について



蓮沼洋志議員

19

- 新型コロナウイルス対策について
- 農林業への支援を
- なりすまし被害の対策について



石河ルイ議員

20

- コロナ感染症について
- 農業、農家への支援について
- 町道の改修について
- 福島第一原発汚染水海洋放出について
- 安倍元総理の国葬について



菅野清一議員

21

- 避難解除後の生活支援とその対策は
- 旧産廃処分場の現状と課題、そしてその対策は
- 福島第一原子力発電所での汚染水海洋放出について



高橋清美議員

22

- 川俣高等学校の存続に係る対応・対策は
- 公共施設の利活用について
- 火葬場整備の進捗状況は

質問席

一

般

質

問



にい ぜき ぜん ぞう

新 関 善 三 議員

## 新型コロナウイルスへの対応は

### 連携し対応に当たっています

#### 質問

①病床使用率の実態は。医療現場が逼迫する中、4回ワクチンを接種した人の感染状況は。

②入院者、宿泊療養者、自宅療養者の実態は把握しているか。  
③濃厚接触者の家庭向けのマニュアルは。

④抗原検査キットの準備と対応は。

⑤夏休みが終わり、学校と家族の連絡は徹底されているか。

#### 町長

①8月25日時点の病床使用率は77・0割です。感染や濃厚接触のため県内で出勤できない医療従事者は1500人を超えています。感染状況は、7月30日以降は陽性者数のみ公表され、町では把握できません。②感染者には保健所が対応しま

#### 教育長

すので、町では把握できません。③県がマニュアル「自宅療養をされる皆さまへ」を作成しています。④県が、キットの配布事業と、薬局等での無料検査を実施しており、町でも周知に努めています。⑤家庭での検温、風邪症状の確認、体調不良の早期発見と安全な帰宅、少しでも体調が悪い時は自宅待機するなど、学校と家庭で共有のうえ、同じ対応を呼びかけています。

## 電子ポイント還元事業の実態は

### 県事業に連携して取り組みます

#### 質問

①ポイント還元事業（キャッシュレス）の第1回、第2回が終了したが、交流人口の拡大と取扱高の実績は。

②第3回、第4回に向け、今後どのような強化策を考えているか。

#### 町長

①県で、第1回が5月から6月、第2回が7月から8月にかけて実施している、電子決済ポイント還元キャンペーンで、浜通り地域等15市町村への来訪者の呼び込みと、域内における消費拡大を目的にしています。



県が実施するおトクなポイント還元事業

対象店舗において、電子決済により買い物することで、15〜30割のポイントが付与されます。効果等について、県の担当課に確認しましたが、現在、精査中のことで、お示しできません。②県で、キャンペーンに加入していない店舗に加入を呼び掛けるなどしており、町としても連携した取組を実施していきます。



かん の しん いち

菅野信一 議員

## 風力発電に対する考えは

### 住民意見を尊重します

質問

①本町に計画される風力発電事業計画の進捗状況

は。

②風車設置に反対する有志から出された要望書に対する町の考えは。

を懸念する意見が出されています。②中ノ森風力発電事業は、今年1月以降の動きはありません。③笹峠風力発電事業は、今年5月に住民意見交換会があり、

③町長は「花塚山周辺に風力発電機を設置させない要望」を森林管理者あてに提出したが、他の風力発電事業についてはどうか。

町長

①麓山風力発電事業（※名称はいずれも仮称）は、

町内には建設しない意向があり説明会が行われましたが、山木屋地区住民からは町外であつても騒音等の影響



隣接する飯館村の風力発電

山木屋地区住民からは騒音だけでなく、森林等環境破壊について懸念する意見が出されています。④葛尾・風越風力発電事業は、令和3年7月以降、動きはありません。

②山木屋4区住民から、風車設置に反対する要望書が出され、住民の意思を尊重するよう伝えられた結果、①のとおり町内には風車は建設されません。引き続き、住民に影響が及ばないよう、二本松市と連携していきます。

③当初から、花塚山周辺に風力発電施設の設置を認める考えはありません。現在、町で再工ネ発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例がありますので、条例の運用により判断していきます。

## 第6次振興計画の進捗は

11月策定を目指しています

質問

①次期振興計画策定の進捗状況は。

②町の将来像をどう描き、どのようなまちづくりを進めるのか。

## 羽山の森美術館の活性化は

企画展示の充実に努めます

質問

①満12年になるが、これまでの実績と評価は。

②川俣町の芸術、文化の拠点として、活性化に取り組む考えは。

教育長

①企画展や、作品展、美術展などのほか、各種イベントを実施し、これまで46700人が来館しています。

②本年度に、新たに山の写真展や、文化団体の作品展、子ども作品展の充実など、展示内容の拡充、活性化に努めていきます。

町長

①計画を構成する基本構想、基本計画、実施計画のうち、基本構想の素案が作成済みで、現在基本計画の素案を作成中です。住民意見聴取の機会等を設け11月末の策定を目指しています。

②将来像の案「みんなの笑顔と活力にあふれ 自然豊かな 歴史と文化が薫るまち」と定め、実現に向け重点ポイントを定めて取り組んでいきます。

# まちの課題を問う

## マイナンバーカードの普及促進を

### 出張申請等を検討していきます

#### 質問

①町のマイナンバーカードの交付状況は。

②普及への取組は。交付率に対する課題は。

③申請を取りまとめてくれた企業等に優遇措置をしている、白河市、伊達市の取組を導入してはどうか。

④マイナポイント申込の向上のため、スマホ教室を連携してはどうか。

#### 町長

①本年7月時点で、4818件、交付率は38・1割です。

②国で、最大2万円相当のポイントが付与される「マイナポイント」事業を実施しており、町では休日窓口を開設して普及に取り組んできました。カードは、住民票、印鑑証明書のコンビニ

#### 教育長

④中央公民館で「初心者向けスマートフォン・タブレット講座」を開催予定ですので、マイナポイント申込手続き等についても検討します。

交付サービス利用には欠かせないものとなっています。町内企業、団体等に出向いて申請を受け付ける出張申請についても検討していきます。

④カードの出張申請を取りまとめてくれた企業や団体に、謝礼金を支払ったり、個人に記念品を渡したりする事例があります。が、近隣市町村の取組を参考に検討していきます。



やま が けい こ

山家恵子 議員

## 障がい者の社会参加促進は

### 官民連携して促進します

#### 質問

①障がいに対する理解を深めるための取組は。

②支援や配慮を必要としていることを知らせるヘルプマークの配布状況は。

③ヘルプマークの啓発活動は。

④外出支援と心理的負担軽減のため、障がい者手帳アプリ「ミライロID」を導入してはどうか。

#### 町長

①2か月に1回、専門職による「精神障がい者にも対応する地域包括ケアシステム検討会」を開催しており、理解促進のためのパンフレット作成、配布を行っているほか、毎



障がい者手帳アプリ「ミライロID」



年9月に障がいの理解を深めるためのパンフレットを選定し、全戸に配布しています。

②精神障がい、視覚障がい、難病、外見からは分からない内部障がい、聴覚障がい、知的障がいなど46人に配布しています。

③役場の窓口にチラシを掲示して啓発に取り組んでいます。

④「ミライロID」アプリは、障がい者手帳を提示する代わりにスマートフォン画面を提示することで各種割引等が受けられるもので、現在、県で導入を検討中です。町民サービスのデジタル化のひとつとして検討していきます。

# 一般質問



さく た よし てる

作田善輝 議員

## 第6次振興計画の策定は

11月策定を目指しています

### 質問

①計画のポイントは。第5次振興計画とのちがいは。

②住民との対話は。

③町内における取組は。

④地区別計画の取組は。

⑤今後のタイムスケジュールは。

⑥計画を推進するうえでの課題は。

⑦新たな取組は。

### 町長

①4つの重点ポイントとして、①子育て応援、②移住・定住、③活力ある産業、

④みんなの生きがいづくり、を定めています。第5次とのちがいについては、これまで別に定めていた「川俣町復興計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

を振興計画に一本化し、一体的に取り組むこととしている点な

どです。

②令和3年11月に、自治会等を単位に16か所で「第1回『将来のまち』懇談会」を開催し、延べ150人が参加しました。令和4年度にも第2回を開催したところです。

③振興計画策定本部のほか、職員ワーキンググループを設置し、人口減少対策をテーマに施策を検討したほか、キャッチフレーズの提案など、職員が主体的に関わる取組を行ってきました。

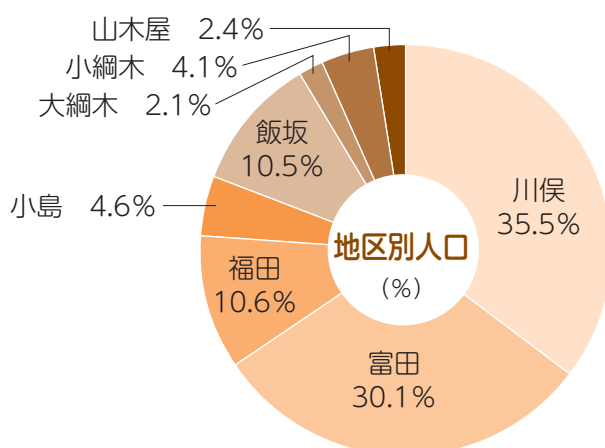
④地区別計画の策定に当たり、令和4年6月から第1回懇談会を、7月から第2回を開催して意見をいただきました。

⑤9月に、計画の協議、調整、10月に策定本部会議で合意形成をし、パブリックコメント（住

## 川俣町地区別世帯数及び人口

令和3年10月1日時点現住人口

| 地 区 | 世帯数   | 人 口   | 人口比率% | 地 区  | 世帯数   | 人 口    | 人口比率% |
|-----|-------|-------|-------|------|-------|--------|-------|
| 川 俣 | 1,796 | 4,204 | 35.5  | 飯 坂  | 510   | 1,239  | 10.5  |
| 富 田 | 1,381 | 3,570 | 30.1  | 大綱木  | 89    | 250    | 2.1   |
| 福 田 | 439   | 1,261 | 10.6  | 小綱木  | 201   | 486    | 4.1   |
| 小 島 | 202   | 546   | 4.6   | *山木屋 | 147   | 287    | 2.4   |
|     |       |       |       | 総 数  | 4,765 | 11,843 | 100.0 |



※山木屋地区人口は帰還者数

民意見の公募）を実施し、11月末までの策定を予定しています。⑥急速な少子高齢化、人口減少社会に入り、担い手不足や財政収入の減少などが課題です。

⑦新たな社会情勢として、①SDGs、いわゆる持続可能な開発目標の実現、②急速に進むデジタル技術の変革への対応と活用、③脱炭素社会に向けた取組、④防災・減災の視点を入れたまちづくり、などへの対応が必要となっています。また、4つの重点ポイントへの取組が必要と考えています。具体的な事業施策について、とりまとめのうえパブリックコメント前にお示しします。

# まちの課題を問う

## ワクチン接種状況と対応は

より一層働きかけていきます

### 質問

① コロナ禍で献血者が減少しているが、その対策は。

② 妊婦の家庭内感染が多いというが、その対策は。

③ 県内でもコロナ感染後、後遺症が確認されたというが、その対策は。

### 町長

① 献血者は、令和元年度256人、令和2年度291人、令和3年度190人となっており、令和4年度は5回中3回まで終了し、現在85人となっています。今後、一層の働き掛けを行っていきます。

② 妊娠届の際や、妊婦訪問などの機会に、感染症のパンフレット等を配布して家庭の感染対策の徹底を呼び掛けていきます。

③ 8月2日時点で、県内で10

8人に後遺症が確認されたと報告があります。症状は、せき、

## なりすまし詐欺等の 防止を

注意喚起に努めます

### 質問

① なりすまし被害への対策は。

② 被害にあわない電話機の貸し出しはできないか。

③ 防災無線で月1回でもいいので放送できないか。

### 町長

① 本年7月末時点で、オレオレ詐欺、架空料金請

頭痛、疲労・倦怠感が多く、集中力低下や記憶障害も報告されていますが、3か月後に3分の2が、6か月後には約9割の方が回復していると報告されています。対策は基本的な感染対策と、ワクチン接種ですので、推進に努めていきます。

求詐欺、還付金詐欺など、県内全体で73件、被害総額は1億7066万円に上ります。本町では、令和2年12月に1件の架空料金請求詐欺以来、被害は発生していませんが、県警川俣分庁舎でチラシ「ポリスメールふくしま」の運用などを行っており、町でも連携して未然防止を図っていきます。

② 平成29年度に、「被害にあわない電話機」の実証実験を行ううとしていましたが、想定外にモニター数が集まらず、効果検証に至りませんでした。他市町村の動向等を勘案して検討します。

③ 町内でなりすまし詐欺の予兆電話が発生した場合、警察署からの情報に基づいて、公式LINEやメールで注意喚起を行っており、同じタ

## 物価高で苦しむ 農家に支援を

支援制度を  
上程しています

### 質問

① 配合飼料が値上がりしているのに、シャモ農家や畜産農家に助成金を。

② 天候不順により菊農家で成育不良になっているので助成を。

### 町長

① 家畜飼料の高騰が続いているため、町では、国の交付金を活用し、今議会に、農業者に対する原油・物価高騰への三つの支援制度の創設を上程しております。（※3ページをご覧ください。）

② 花き栽培農家に対しても、生育等に直結する燃油及び肥料に対し、支援しています。

イミングで防災行政無線でも注意喚起を行っています。



はす めま ひろ し

蓮沼洋志 議員



ポリスメールふくしま



いし かわ

石河ルイ 議員

## コロナ感染症対策は

### 県と連携して対策します

#### 質問

①感染拡大を抑え込むため、抗原検査の拡充が必要と考えるが、キットの不足、入手困難についての実態は。

②臨時的療養施設の準備は。

③医療・介護従事者への4回目の接種の迅速な取組は。

④自宅療養者への支援は。

#### 町長

①一般販売分が品薄の状況である一方、県では、濃厚接触者、有症状者への無償配布分として、抗原検査キット1日当たり5000キットまで確保しています。

②療養施設の設置は県が一元的に管理しており、町で設置する予定はありません。

③7月末から、医療、介護関係者への4回目接種を開始しています。

④普段から食料、薬、日用品を備え付けておくよう広報しているほか、陽性になった場合には、県のフローアアップセンターから直接食料等の支援が行われます。町では、保健所の指示により、緊急的な支援を行います。

## 町道改修率は

約7割です

#### 質問

直近までの請願・陳情への対応状況と改修率は。平成20年度から現在まで町道改修の請願、陳情は



馬場平四郎線補修の様子

## 農業・農家への支援は

### 調査研究していきます

#### 質問

①食料自給率向上の取組は。水田作付率と畑作耕作率は何割か。

②コミュニティガーデンに取り組む考えは。

③水田活用交付金削減等による堂農衰退への対策は。

#### 町長

①地域の食糧自給率を上げるためには、消費の拡大で、整備完了が37件、一部完了が14件、未実施が23件です。改修率は約7割となっています。

## その他の質問

#### 質問

原発汚染水の海洋放出に対する町の考えは。

#### 町長

町議会の「東京電力福島第一原発汚染水海洋放出に反対する意見書」を踏まえ、県、関係機関等と連携して問題に取り組みます。

#### 質問

安倍元総理の国葬に際し、半旗掲揚や黙とうを求めるのか。

#### 町長

町からは半旗の掲揚は求めません。

# まちの課題を問う

## 避難解除後の住民支援は

### 引き続き支援に努めます

#### 質問

①移動スーパーが撤退した  
たがその対策は。

②新復興大臣への要望の本身は。

③医療、営農、生活再建などの  
具体的支援策は。

④ホットスポットの再除染は。

⑤町指定文化財三匹獅子の後継  
者確保策は。

#### 町長

①移動スーパーを実施し  
てきた(株)運喜から、8月

末で撤退する旨の報告があった  
ことから対応を図り、9月から  
は(株)いちいで、週2回、移動ス  
ーパーを実施していただけるこ  
とになりました。

②ハード事業は概ね順調に進ん  
だものの、加速した高齢化等に  
より、確かな復興を実感できな  
いことから、継続的な支援等を  
要望しています。

#### 教育長

③再開した診療所で、オンライ  
ン診療を推進していきます。営  
農再開は、圃場の整備、農業用  
機械、施設の整備等を行ってい  
ます。生活再建は、帰還者のほ  
とんどが高齢者であるため、コ  
ミュニティ、地域のきずなの確  
保のため、広報誌の発行や、自  
治会等団体での交流促進等多岐  
にわたって支援しています。

④地権者等から相談があれば、  
環境省と連携して対応します。

⑤原発事故の影響で、  
後継者の確保が困難な  
状況ですので、インターネット  
動画の配信や、記録映像の活用  
等、後継者の発掘、育成を支援  
していきます。



かん の きよ かず

菅野清一 議員



産廃業の許可が取り消されたままの富岡興業

## 旧産廃処分場の 現状と課題、対策は

### 撤去が望ましいと 考えます

#### 質問

①昭和60年に事業者と町  
が結んだ、産廃処分場に  
関する協定書は守られてきたの  
か。

②地元住民はいち早く撤去すべ  
きという意見だが、町の考えは。

#### 町長

①富岡興業の産業廃棄物  
最終処分場の操業開始に  
あたり、県の立会いのもと、公  
害の未然防止のための協定書を  
締結しましたが、その後の度重  
なる汚水流出事故等を見ると協  
定は守られていなかったと言わ  
ざるをえません。

②地域住民の不安に思っている  
現状を見ると、撤去されるのが  
望ましいと考えますが、富岡興  
業の所有物であり、県でも撤去  
等の措置命令は出せない状況で  
す。

## 原発の汚染水の 海洋放出を認めるのか

### 議会意見書を踏まえ 対応します

#### 質問

福島県と立地2町は海洋  
放出のため工事を認めた  
が、町に報告はあったのか。

#### 町長

①県と立地2町の事前了  
解がなされた8月2日、  
報告を受けました。町議会が議  
決した海洋放出に反対する意見  
書を踏まえ、問題に取り組んで  
いきます。



## 議会意見が採用 建設費約4億4千万円

第19回

(9月14日)

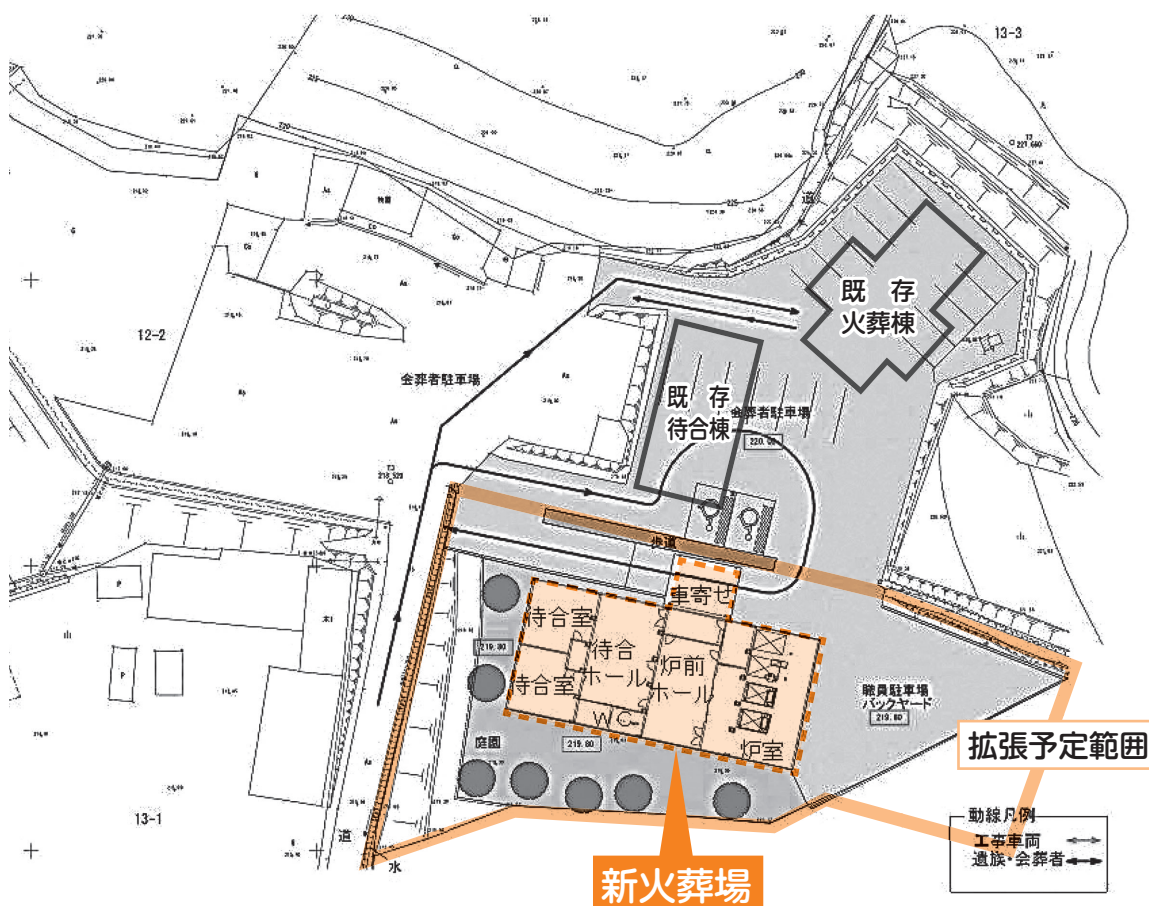
当局から「炉数2基、火葬棟と待合棟を一体的に建替える」ための最終案が示されました。

「現在の敷地の西側を拡張」し、「新火葬場の供用開始まで既存の火葬場を従来どおり稼働する」こととなります。

これまで、原案に対して厚生文教常任委員会や、全員協議会等で意見してきた結果が反映されたものとなりました。

新火葬場は令和6年12月から供用開始となる見通しです。

### 施設の配置



既存火葬場を稼働しながら建替えへ

# 産廃処分場に関し意見書提出へ

請願調査を経て、県に4度目の意見書

9月6日  
ほか

山木屋自治会から提出された請願書を受け、現地調査を行いました。

富岡興業の旧産廃処分場については、操業開始直後から度々、汚水の流出事故等を繰り返し、地区住民だけでなく、下流域にある二本松市民にも不安を与えてきました。現在は、操業許可が取り消され、県の監視のもと、産廃処分場の維持管理が行われ

ていますが、今なお約30万トンの廃棄物が残されています。県で、富岡興業が適切に維持管理するよう指導していますが住民からは、さらなる指導強化と、廃棄物の全量撤去を求める声が出されていました。

委員会の現地調査を経て、議員発議により、県に意見書を提出しています。(13ページ)

| 年                 | 産廃処分場等の経過                              |
|-------------------|----------------------------------------|
| S60.11            | 富岡興業が山木屋地区で産廃処分場を操業開始                  |
| S61、S62<br>H2、H17 | 汚水流出事故、建物火災、車両火災など                     |
| H17.9             | 町議会で現地調査。県に「管理監督強化を求める意見書」提出           |
| H19               | 重油1000ℓの流出事故。□太川にも流出                   |
| H20.9             | 町議会で「管理監督の更なる強化を求める意見書」提出              |
| H20.12            | 福島市内給油所から下水道側溝に汚水を不法投棄。役員、社員が逮捕、起訴される。 |
| H21.11            | 役員の「有罪」が確定し、全ての産廃業許可の取り消し処分            |
| H21.12            | 町議会から県に「処分場の安全管理に関する意見書提出」             |
| H22.4             | 山木屋自治会が主催で産廃問題のシンポジウム開催                |
| H24.8             | 県が埋立地法面の補強措置命令を出すも不履行。県が補強工事を代執行       |
| R4.9              | 請願書提出を受け現地調査。県に4度目の意見書提出               |





議員がまちの“いま”取材し、レポートします。

# まちれぽ

第5回

## 川俣リヤンズ

(バスケットボール部)

取材は9月28日(水) 午後6時～

### ●部員数

小学1年生から小学6年生までの13人

### ●練習日

毎週水曜日 午後6時～午後8時

毎週土曜日 午前9時～正午

### ●練習場所

旧富田小学校体育館

### ●連絡・問合せ

本多聡史様 (☎090-6256-1194) まで。



基本のドリブル練習、気合いが入ります

夕方6時、あたりは薄暗くなり、秋の気配に包まれた体育館。今年3月閉校となった学校は静まり返っているかと思いきや、ボールが床を叩く音、子どもたちの走り回る足音、弾む声！とにかくにぎやか！楽しそうな雰囲気がいっぱいでした！

この日のコーチはお二人。「お兄さん」のような雰囲気、中高ともにバスケットをやってきた仲間だそう。息のあった指導で、子供たちの練習を支えていました。

もともとは、町のスポーツクラブがはじまりで、平成29年度からハンドボールと共にリヤンズとしてスポ少を立ち上げました。クラブの決まりごととは特になく、「楽しみながら」をモットーにしています。もう、子どもたちの本当に楽しそうなこと！バスケットがとにかく好きで、仲良く、楽しんでやっていることが伝わってきました。

11月には6年生最後の大会がありますが、コーチは「肩の力を抜いて、のびのびと頑張ってもらいたい」と言っていました。保護者のひとりには、子どもが、バスケットを始めたことで体力アップにつながり、ケガをすることも少なくなり、また、コーチの寄り添った声掛けが頑張る力になっている、と話していました。子供たちの成長が楽しみです。

本当に明るいクラブで、私も思わず笑顔になりました。興味のある方は、ぜひ練習をのぞいてバスケットの楽しさを体験しにきてください。町の行事にも一緒に参加するなど、お互いを支えあっているそうです。

最後に、リヤンズとはどんな意味があるのか、コーチの方々に尋ねました。フランス語で「絆」だそうです。リヤンズも多くの方々の支えで絆をつないで今があるように、川俣町も人との絆を大切にすることが今後のまちづくりのキーワードではないかと感じました。



【担当】山家 恵子 広報編集委員



「シュート！」 「入れさせないぞ！」

# 町民の声

## 私のひと言



### 町に後継者を 呼び込もう

鶴沢  
氏家チイ子 さん

地域から子どもの元気な声が聞こえなくな  
ってずいぶん久しいです。次世代を担う若者  
は、もう、いなくなってしまうのか、と心底  
心配になります。毎月の「広報かわまた」の  
人の動き欄を見ていると、人口減少の一途を  
たどっているのがとても寂しい限りです。

町としても、移住・定住を推進するための  
事業予算を設けていますが、この人口減少を  
食い止めるために、特に若者の定住やU・I  
ターンの受け入れ対策を積極的に講じていた  
だきたいと思います。私も、若者世代を町内  
に迎えるための策として、一案を挙げてみた  
いと思います。

子育て世代が求めるのは、子どもたちを豊  
かな自然の中でのびのびと育てたい、家族と  
ともに余暇を楽しく過ごす場所、空間が欲し  
い、ではないでしょうか。そのような人は、  
広くて安価な土地の取得を望むと思います。  
このような要望に応えるために譲渡や、相続  
したが活かしきれていない土地・建物や、耕  
作放棄地など、管理不十分な資産を紹介し、  
利活用の促進策はどうでしょう。無償提供や  
低廉な価格での譲渡となるように、町の奨励  
策に加えてはいかがかと思います。

私たち、一人ひとりが意識しながら、でき  
るところから「緑の中に光るまち川俣」の良さ  
を発信していければいい、そう思っています。

## 議会改革に関する 調査特別委員会

最終報告  
します

定例会は12月1日から7日まで

令和2年12月から2年にわたって調査してき  
た議会改革のあり方について、最終報告します。

令和3年12月に、住民アンケート結果を含む  
中間報告をしたのち、コロナ禍により延期してい  
た先進地調査等を実施し、協議してきました。

次の調査項目について、今後の議会のあり方、  
取組を示し、議会改革を進めていきます。

### 調 査 項 目

- 1 議会・議員の役割、あり方
- 2 議会への住民参加のあり方
- 3 議会の機能強化、議会運営の適正化
- 4 議員報酬、議員待遇のあり方



神奈川県葉山町議会を調査しました

ぜひ傍聴に  
おいでください。

※12月7日に報告予定です。



議会中継

## 編集後記

先月2日、三年ぶりに山木屋三  
匹獅子舞が奉納されました。祭礼  
前日には「千本切」という稲穂を  
象った造花を造るための行事が行  
われました。

避難解除後も帰還者が少なくそ  
の行事も危ぶまれましたが町役場  
職員に応援を依頼したところ新人  
から幹部まで10人余りの職員が手  
伝いに来てくれました。高齢者中  
心の準備作業の中に若い職員がそ  
れぞれの作業に参加してくれたの  
は大変力強いことでした。

職員も役場の仕事以外に直接住  
民と触れ合うことも少ないため貴  
重な機会であったことと思います。  
なぜこのような獅子舞が何百年も  
続いているのか、なぜ子どもたち  
が一生懸命に伝統の舞を引き継い  
でいるのか等、山木屋の事を考え  
る大きなきっかけにもなったこと  
と思います。

参加した町職員からは花つくり  
を通じて獅子舞に関わった感動や  
喜びの声が聞かれました。

住民からも獅子舞の運営に関心  
を持ってもらったことや、山木屋の  
現状を肌で感じてもらった事など  
大きな意義があったようでした。  
獅子舞を見たのが初めてという  
職員もいて大変感動した様子でし  
た。また来年も参加したいという  
声も多く聞かれました。

短い時間でしたが小さな絆を感じ  
た優しい日の出来事でした。

(菅野清一議員)

### ◇広報編集常任委員会

議長 高橋 道吉  
副議長 村上 清一  
委員 佐藤 喜三郎  
委員 山田 善輝  
委員 家田 恵子